

北海道みなとまちの歴史

廣井勇が育んだ北の日本近代築港

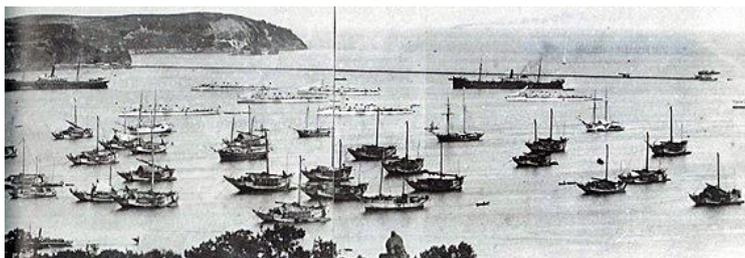
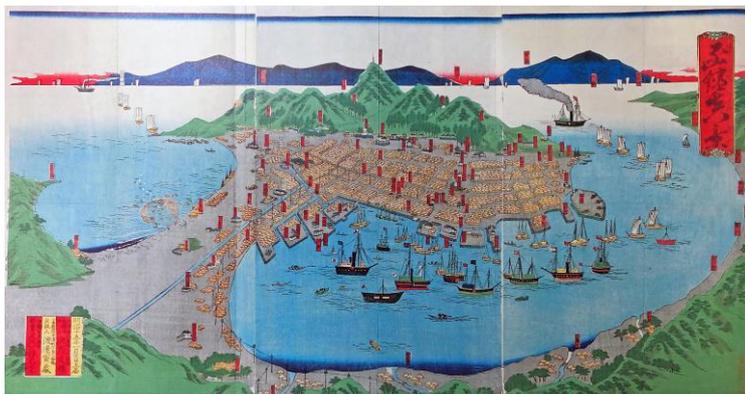
関口信一郎 [著]

北海道の港町形成史と近代築港のルーツを描く

明治期に海外から日本へ移植された近代築港の科学と技術が、北海道開拓と港町の形成に大きく貢献した事実を明らかにした歴史書が誕生しました。

日本における近代築港を、開拓期の北海道を舞台に生み育てた廣井勇は、札幌農学校を卒業後、アメリカで工学を学びました。その豊富な知識と北海道開発への使命感で、廣井は自ら道内の港湾開発を指導しました。これによって、北の地で近代築港の技術が大きく発展した事実を明らかにします。

さらに、函館・小樽・室蘭・釧路・留萌・苫小牧の各港が、いつ・どこで・どのような理由により建設されたかを詳述するとともに、港の建設とそれに伴う産業経済の発展によって港町が発展した過程が、歴史的・空間的に把握できるように記述。小樽運河や釧路港の建設過程など、従来の歴史書において不正確な点も訂正しました。



推薦の言葉——本書は北海道における初めての港湾の通史である。その発展の過程を多面的に捉えた、北海道の港と港町の歴史を知る好個の著作として推薦します。

北海道大学元総長 佐伯 浩 名誉教授

著者プロフィール 関口信一郎 (せきぐち・しんいちろう)
1950年岩手県生まれ。北海道大学大学院工学研究科修了。旧北海道開発庁(現国土交通省)入庁。旧運輸省(現国土交通省)港湾技術研究所、水産庁漁港部、北海道開発局等に勤務。現在、萩原建設工業株式会社特別顧問。著書に『シビルエンジニア 廣井勇の人と業績』(2015)。2001年工学博士。

体 裁 A5判・288ページ(予定)・並製本(図版多数収録)

定 価 本体3,600円+税 [税込価格:3,960円]

発売日 2020年11月刊行予定

発行・発売 亜璃西社 札幌市中央区南2西5 TEL 011-221-5396 FAX 011-221-5386 www.alicesha.co.jp

ご注文書

ご注文数

●ご購入者様名

●送付先ご住所

●電話番号

北海道みなとまちの歴史

冊

関口信一郎 ● 著 定価 ● 3,600円+税 [税込価格:3,960円] ISBN 978-4-906740-44-4